



## JONA

# オーガニックコスメ認証

JONA（通称：ジョナ）＝日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会は、日本国内で最初に有機食品認証業務を開始した「第三者・オーガニック認証機関」です。

昨今のオーガニック食品の生産、販売量は世界的に見ても確実に伸びています。日本においては、2000年より法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）による基準に従った認証が開始され、食品分野によるオーガニックの認知は高まったと考えています。これは、食におけることだけでなく、衣類や化粧品や住居など、様々な分野で消費者が健康や環境に配慮し、注目してきていることがうかがえます。

その中でも、コスメティクス（人体に使用する化粧品及びボディケア用品。以下、コスメと略す）は、ナチュラルな製品への需要がここ数年で急激に伸びています。日本では、コスメのオーガニックの表示法制度はなく、消費者の需要が増えることにより、「オーガニック」や「ナチュラル」「自然派」などという言葉が濫用されており、更には海外からの「オーガニック」や「ナチュラル」と称する製品の輸入も増加していますが、その表示も多様でありオーガニックを求める消費者がその製品を選択することが難しい状態になってきているのが現状です。

このような背景のもと、JONAは有機食品の認証実績をもとに、オーガニックコスメ認証基準を策定しました。

### JONA オーガニックコスメ認証基準の主な目的

- オーガニックコスメを求める消費者が選択しやすい環境を整えること。
- オーガニックの農畜水産物の生産を促進し、環境負荷の低減に寄与すること。
- 人々の持続可能な生活スタイルの普及に寄与すること。

# JONA オーガニック・コスメ認証基準の概要

## 特徴

- ・ 有機加工食品の考え方がベース
- ・ 2段階の表示区分( オーガニック/メイドウィズオーガニック)
- ・ 有機原料の使用を重視
- ・ 海外基準認証原料の使用も可能
- ・ 最終製品の安全性を確認する目的での動物実験は、認めない。

## 原則

- ・ 有機農畜水産物や環境に配慮した資源(鉱物等)を用いて製造すること。
- ・ 石油由来原料、合成着色料、合成香料の使用は認めない。
- ・ 動物由来原料使用可。ただし、食品の副産物由来であること。
- ・ 組換えDNA技術、ナノ技術、内分泌攪乱作用が疑われるもの、放射線照射は認めない。

## 製造方法

有機原料または自然界の再生可能な資源を主体とし、その他原料の使用を極力避ける方法を選択し、物理的・生物の機能を利用した手法を基本とすること。

物理的方法	粉砕、混合、成型、加熱・冷却、加圧・減圧、乾燥、分離(ろ過、遠心分離、圧搾、蒸留)等
生物の機能を利用した方法	カビ、酵母、細菌の利用等
化学的方法	燃焼、焼成、溶融、乾留、けん化、中和、酸化/還元等

\*製造工程は、汚染と混入がないよう管理すること。

\*製造施設の防虫防鼠には細心の注意を払い、化学薬品による汚染を防止し、環境負荷を軽減するためにも、構造的、物理的対策がとられていることを基本とする

## 原料成分の条件

### 有機原料

認証された有機農畜水産物及びその加工品

- ① 有機 JAS マーク付き原料
- ② JONA 基準を満たす原料（有機養蜂産物、有機水産物、食品として流通しない農産物等）
- ③ NOP、EU マーク付き原料（有機 JAS 制度と同等の制度を有する国の基準で認められたもの）
- ④ その他、JONA が認める認証団体による認証を受けたもの（IFOAM 認可団体、ISO ガイド 65 を取得した団体、政府系団体）

### 鉱物および鉱物由来原料

化学的合成物質が添加されていなく、許可工程のみで製造されたもの。重金属等による汚染がないこと。採取地の環境保全への配慮

水 飲用適のもの。化学的処理（電解水など）は認めない

### 非有機農畜水産物由来原料

次の I から V を全て満たすもの

- I. 農畜水産物に由来
- II. 化学的合成物質が添加されていなく、許可工程のみで製造されたもの
- III. 環境・生態系に対する影響を考慮
- IV. 人間の健康・肌（皮膚）に及ぼす負の影響が最小限
- V. 使用用途・目的が明確であること

有機加工食品の日本農林規格で使用が許可されている添加物

## 管理に必要な手順書の作成

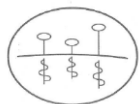
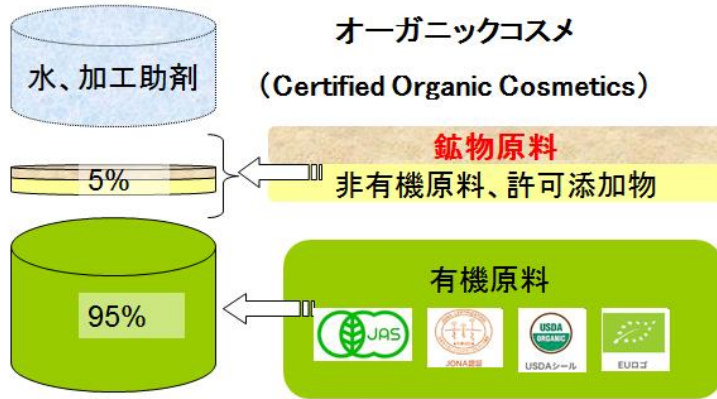
- 有機原料の受入に関する事項
- 製造方法に関する事項
- 使用する機械・器具に関する事項
- 出荷に関する事項
- 基準への適合性の確認に関する事項
- 認証マークの管理に関する事項 **ポイントは、汚染と混入リスクの排除！！**
- 内部監査に関する事項
- 生産行程に関する異常やクレーム対応に関する事項
- 従業員の教育訓練に関する事項

**表示**



**オーガニック (Certified Organic)**

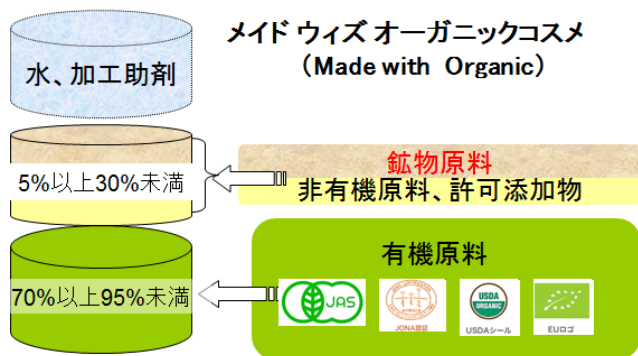
水、加工助剤を除く配合時重量のうち、95%以上が有機原料。それ以外は非有機農畜水産物由来原料、鉱物及び鉱物由来原料、有機加工食品の JAS 規格で使用が許可されている添加物。



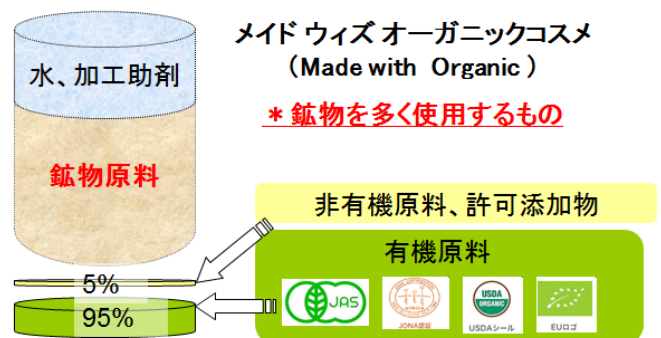
**メイド ウィズ オーガニック (Made with Organic)**

つぎの 1, 2 のいずれかを満たすもの

**1** 水、加工助剤を除く配合時重量のうち、70%以上 95%未満が有機原料。それ以外は非有機農畜水産物由来原料、鉱物及び鉱物由来原料、有機加工食品の JAS 規格で使用が許可されている添加物。



**2** 水、鉱物および鉱物由来原料、加工助剤を除く配合時重量のうち、95%以上が有機原料。それ以外は非有機農畜水産物由来原料、鉱物及び鉱物由来原料、有機加工食品の JAS 規格で使用が許可されている添加物。



# JONA オーガニックコスメ認証を受ける前に

## JONA 認証区分の確認

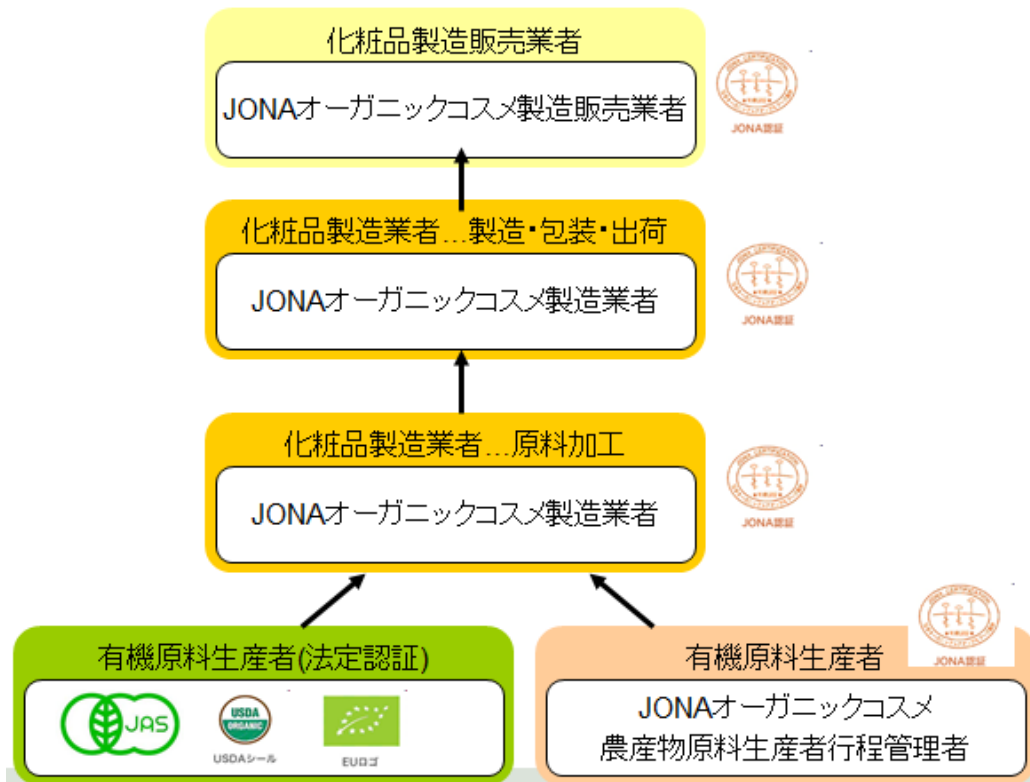
現在、日本国内にはオーガニックコスメの表示基準がないため、認証は JONA 独自認証基準に基づきおこないます。JONA 独自認証は、法律で求められるものではなく任意の認証です。

原材料または最終小売製品に、JONA 認証マークを表示し、「オーガニック」「メイド ウィズ オーガニック (オーガニック原料使用)」と記載する化粧品・医薬部外品を製造販売しようとする事業者が対象です。

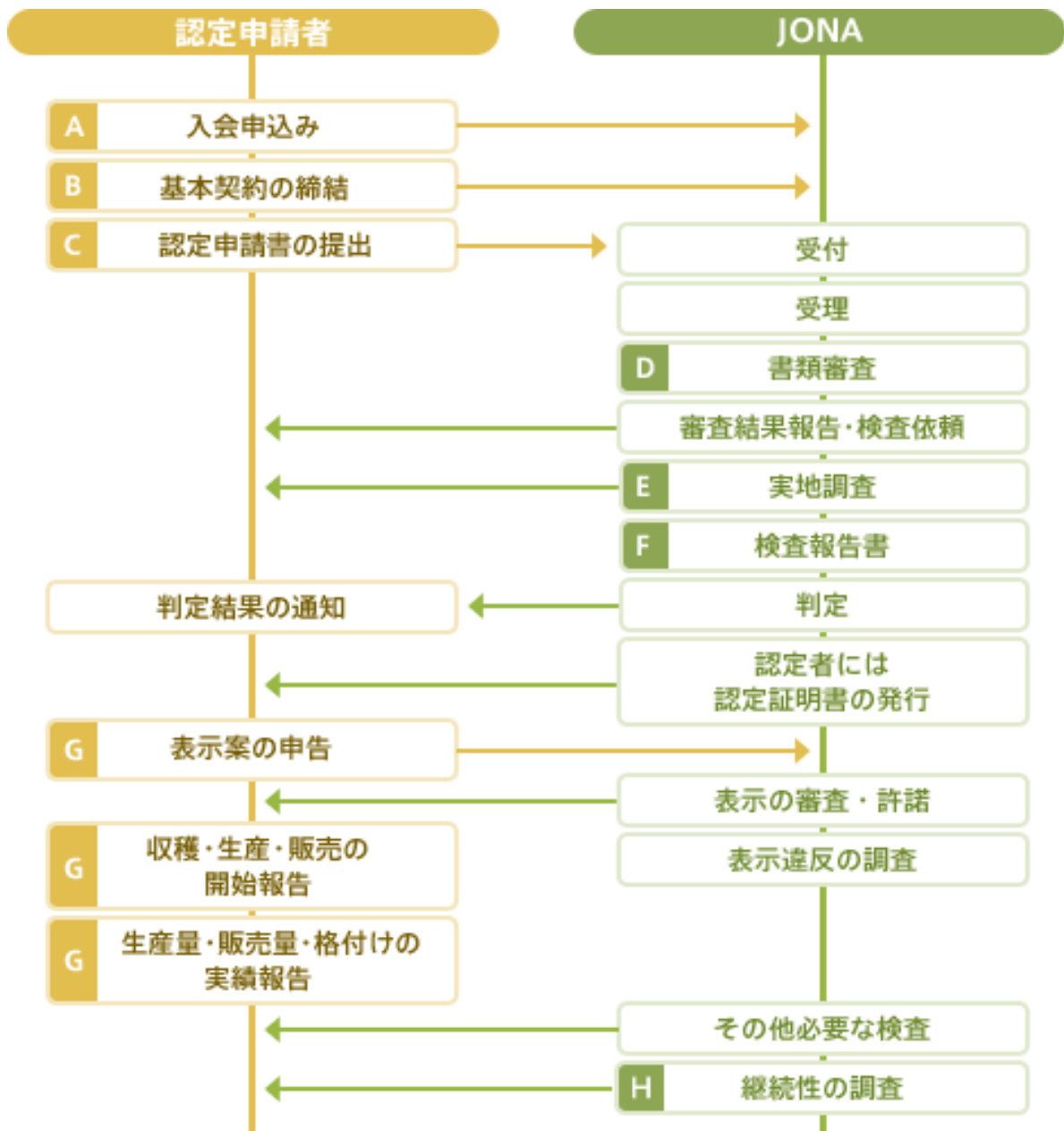
## 認証区分

事業内容	認証区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医薬部外品 製造販売業</li> <li>■ 化粧品 製造販売業</li> </ul>	JONA オーガニックコスメ 製造販売業者
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医薬部外品 製造業</li> <li>■ 化粧品 製造業</li> </ul> (原料の製造業も含む)	JONA オーガニックコスメ 製造業者
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 化粧品等原料用農産物の生産者</li> </ul> (有機 JAS 認定対象外の非食品生産者 例: 竹の葉、ヘチマ等)	JONA 有機農産物 生産行程管理者

\*自社又は委託製造した製品を市場に出荷・流通させるためには、薬事法の「製造販売業」の許可が必要です。また、化粧品を製造するには、薬事法の「製造業」の許可が必要です。



## 認証審査のながれ



申請しようと思ったら・・・

### A 入会申込み

JONA の認証を考えていらっしゃる方で理念と認証業務運営にご賛同いただけた方は、「入会申込書」をお送りください。JONA 入会資料には、基準・プログラム、申請書類一式が含まれています。非会員は必要書類をご購入いただくことになります。



## B 基本契約の締結

主に守秘義務と利害関係の排除、認定申請者の遵守事項に関する契約で、認定申請者と JONA の間で事前に合意するものです。

## C 認証申請書の提出

認証を受けようとする方は、「認証審査申請書」「申告書」「必須添付資料」の 3 点を揃えて提出します。提出された申請書は、JONA 事務局で受付後、書類の整備状況を見て、不足等があればその部分を補正してから受理します。

## D 書類審査

受理した申請書を、検査員／判定委員の資格を有する者が審査します。書類審査では、組織や施設の適合性、手順書の整備状況、申請内容と図面等の整合性等について適否を判断します。書類審査で軽微の不適合があれば、補正していただく場合があります。

## E 実施検査

書類審査に合格した案件の申請内容、業態、地理的条件、利害関係などを考慮し、全国の契約検査員の中から適切な人物を選定します。JONA の検査員から実地検査に関する連絡がありますので、相談のうえ検査日程を決めてください。

## F 検査報告書

検査終了後 10 日をめどに、検査員から実地検査の状況に関する報告書が JONA に届きます。検査報告書は、申請書と一緒に判定委員会へ提出され、最終判定が行われます。可否の結果は、「JONA 通知書」でお知らせします。認定が決定した案件については、認証書を発行します。

## G 認証後の取り決め

認証を受けた方には、表示審査を受けていただきます。表示審査では、品名、一括表示のほか、有機に関する表現や JONA オリジナルマークの使用が適切であるかを確認します。また、オーガニックコスメの製造開始報告、販売実績報告（3 ヶ月に 1 度）、各報告をしていただくこととなります。

## H 継続性の調査

2 年目以降は、JONA から「継続調査の実施予定の通知書」を送付します。認定継続を希望する場合は、申請書を提出してください。審査手順は初年度と同様に進行します。

### ●臨時確認審査

認証取得後～次年度調査までの間に、原料の変更・新商品の追加などがあった場合は、その都度 JONA に申請してください。認証工場のラインや関連施設の追加など、認証内容を大幅に変更する重大事項については、実地検査を行います。

### ●非通知検査

年次検査に追加して非通知検査を行う場合があります。非通知検査を行う事業者は、事務局が、無作為に選ぶ場合と、社会的注目度の高さ等を考慮して指名する場合があります。

## 認定に係る費用一覧【単位：円】

項目	JONA 正会員	準会員	非会員
入会金 (初年度のみ)	50,000 (法人) 5,000 (個人)	20,000(法人) 5,000(個人)	0
年会費 (毎年)	120,000 (法人) 12,000 (個人)	36,000(法人) 6,000(個人)	0
システム利用料 (初年度のみ)	0(会費等で充当するため)	0(会費等で充当するため)	50,000(法人) 5,000(個人) 20,000 (委託事業者・法人) 5,000 (委託事業者・個人)
認証申請料金 1 件あたり	20,000 (法人) 10,000 (個人)	20,000 (法人) 10,000 (個人)	20,000(法人) 10,000(個人)
原料評価費 1 原料につき	10,000	10,000	10,000
認証業務費	0(会費等で充当するため)	0(会費等で充当するため)	120,000 (団体) 12,000 (個人) 36,000 (委託事業者・法人) 6,000 (委託事業者・個人)
実施検査費	検査日当 (一名分)	25,000 円 + 交通費 (実費)	…1 日 8 時間まで
	移動手当 (一名分)	15,000 円 + 交通費 (実費)	…半日 4 時間まで
	移動手当 (一名分)	5,000 円	…検査日程の都合により、宿泊を要する場合あるいは、往復 7 時間以上を要する検査の場合に適用
検査員 報告書 作成費用	有機農産物 生産行程管 理者	5,000 円	…規模により変動あり。見積もり可。
	コスメ製造 業者	5,000 円	…規模により変動あり。見積もり可。
	コスメ取扱 い業者	3,000 円 (+3,000 円 外注施)	…規模により変動あり。見積もり可。
運営協力費 (年間の商標使用 料)	JONA の名称を使用し た商品の売り上げに対 し、0.5~0.1% (団体、 個人)	0	JONA の名称を使用した商 品の売り上げに対し、0.5~ 0.1% (団体、個人) 0 (委託事業者)
年間管理費 (毎年)	0(会費等で充当するた め)	20,000 (法人) 5,000 (個人)	0 (法人、個人) 20,000(委託事業者の団体) 5,000(委託事業者の個人)



◆臨時確認調査手数料【単位：円】

項目	正会員	準会員	非会員
書類審査のみの臨時確認調査手数料	2,000	2,000	2,000
実地確認を伴う臨時確認調査手数料	18,000（団体） 8,000（個人） +検査費用（実費）	18,000（団体） 8,000（個人） +検査費用（実費）	18,000（団体） 8,000（個人） +検査費用（実費）

\*臨時確認手数料…認証内容の軽微な変更・追加事項に係る判定委員会での書類審査は 2,000 円とします。また、判定委員会が実地確認の必要があると判断した変更・追加事項、認証プログラムで規定する年間に複数回調査する場合、及び情報提供等により疑義が生じた場合など、実地確認を伴う臨時確認調査の費用は、「18,000 円（団体）、8,000 円（個人）+実地確認費用（実費）」とします。

【備考】軽微な変更・追加とは、内部規程の変更を伴わない変更、内部規程等の見直しによるマニュアルの改定等、従来の認定内容からみて、汚染・混入リスクが大きく増加しないと判定委員会が判断し、書類のみで確認したものです。また、認証工場のラインや関連施設の追加など、認証内容を大幅に変更する重大事項については、特別な事情がない限り年次調査として取り扱います。

- 注1) 準会員とは、正会員の受託事業者であり、この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体(正会員と受・委託契約のない個人・団体が準会員になることはできません)。
- 注2) 申請者が一体的に管理する外注施設(作業施設、倉庫等)は、1件当たり 3,000 円戴きます。
- 注3) 認定に係る費用は、期中の脱会、申請の途中取り下げなど、いかなる場合も返還できませんのでご注意ください。

# オーガニックコスメ認証 Q&A

## 問 1) なぜ JONA は独自認証基準を作成することになったの？

- ・国内有機農業を推進するためには、外国認証に頼っているコスメ原料の現状を変える必要があります。国内産の有機農畜水産物をコスメ原料に利用することを考えた場合、有機農産物や有機加工食品の日本農林規格との連動性は大変重要です。だからこそ JONA は独自基準を作成するに至りました。
- ・認証で得た情報を活用し、より国内のニーズに対応したオーガニックコスメ基準に発展させたいと考えています。

## 問 2) 他の認証機関の基準とは何が違うの？

- ・JONA の基準は、「オーガニック」を主体として考えています。他の認証機関等の基準では、「オーガニック」&「ナチュラル」両方をメインにアプローチしているところが違うと考えています。
- ・そのため有機割合の計算方法などが異なります。JONA 基準は有機加工食品の日本農林規格と同じように、使用する水や加工助剤の重量を除いて有機割合を計算します。他基準は、天然原料や天然由来原料の割合、含まれる植物由来原料中の有機割合、全重量のうちの有機原料割合の基準などがあります。
- ・他基準では、原則石油由来の成分を禁止していますが、自然界に存在する化学物質は許容している成分もあります。例えば、安息香酸やベンジルアルコール等。JONA では、自然界に存在する化学物質であっても、石油由来成分の使用は認めません。

## 問 3) JONA 認証を取得するメリットは？

- ・JONA は、有機 JAS 認定、NOP、カナダ、EU 認証の登録機関です。また、IFOAM 認証や ISO17065 も取得しており、日本だけでなく国際的にも信頼を得た第三者認証機関です。そのため、オーガニックとしての信頼性が担保できます。
- ・有機 JAS 認定事業者を多数かかえていることによる“ネットワーク”を利用できます。化粧品原料として供給したいという農家もあります。
- ・国内認証団体のため、国内の申請者にとっては対応が円滑にできます。

## 問 4) オーガニック原料の比率の根拠は？

- ・「オーガニック」基準は、有機加工食品の日本農林規格をベースに設定しました。
- ・「メイドウィズオーガニック」は2つの配合基準があります。一つは、有機食品表示のコーデックスガイドラインによる有機原料使用表示の考えをベースにした比率設定、もう一つはメイクアップコスメ製品を想定して独自に設定しました。

問 5) 他の基準で認証を取得している成分は、その内容について証明書類が必要なの？

(例：〇〇エキス 75%有機原料)

- ・オーガニック原料として認めるのは、①有機 JAS マーク付き原料、②JONA 基準を満たす原料(有機養蜂産物、有機水産物、食品として流通しない農産物等)、③NOP、EU マーク付き原料(有機 JAS 制度と同等の制度を有する国の基準で認められたもの)、④その他、JONA が認める認証団体による認証を受けたもの(IFOAM 認可団体、ISO ガイド 65 を取得した団体、政府系団体)です。
- ・オーガニック認証の内容(認定を受けた製造業者、成分内容)がわかる証明書等が必要です。
- ・他基準でオーガニック以外の原料認証を受けている場合は、JONA 基準に適合しているか確認するため証明書等が必要です。
- ・他基準でオーガニック認証を取得していても、オーガニック以外の成分が使用されている場合は、その成分が JONA 基準に適合しているか確認するため、説明資料を提出していただきます。ただし、現状では、JONA 基準を満たすものが無い可能性があるため、しばらくの間は経過措置を設ける予定です。

問 6) 石鹼類製造のために鹼化剤は使用できるの？

鹼化のために使用する水酸化カリウムおよび水酸化ナトリウムは、石鹼の製造上必要不可欠であることから、配合割合の計算から除外することができます。

問 7) 水素添加はできるの？ 例) スクワレン+水素→スクワラン

水素添加は化学的方法ですが、還元反応として許容できる化学的方法として判断できると考えています。ただし、製品ごとに個別に評価します。

問 8) 申請から認証取得までの期間、費用はどれくらい？ 認証取得後も検査は行うの？

- ・申請から認証までの標準期間は、約 3 ヶ月としています。
- ・費用は料金表をご参照ください。検査は、原則として年に 1 回以上行います。
- ・認証内容に追加/変更などがある場合は、臨時で行うこともあります。

問 9) 認証のマークはあるの？

- ・表示区分ごとに、下記の JONA のオリジナルマークを使用できます。
- ・説明書きで表示区分を記載する必要があります。



オーガニック  
(Certified Organic)

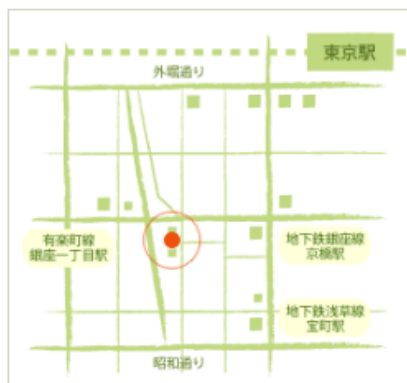


メイド ウィズ オーガニック  
(Made with Organic)

問 10) 容器、パッケージにも制約があるの？

- ・「環境負荷が少ないものを選択すること、過剰包装を避けること」としています。包装・パッケージに使用を禁止する素材名等はリスト化していませんが、遺伝子組換え由来の物質は禁止しているため、個別に判断します。

## JONA 事務局



拡大

### 所在地

日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会  
〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目5番3号 竹河岸ビル3F  
Tel:03(3538)1851(代)  
Fax:03(3538)1852

### 営業時間のご案内

土・日・祝日・年末年始を除く9:15~17:30。  
そのほか臨時で休業とする場合はホームページにて適宜ご案内します。

### アクセス

JR東京駅 八重洲南口から 徒歩8分 / 銀座線京橋駅 2番出口から 徒歩2分 / 浅草線宝町駅 A3出口から 徒歩3分 / 有楽町線 銀座一丁目駅から 徒歩2分



認証プログラム・JONA オーガニックコスメ基準・申請書類一式が必要です。  
JONA 会員は無料でお渡しします。非会員の方はご購入ください。

詳しくは JONA 事務局

Tel: 03-3538-1851  
e-mail: [jonacontact@jona-japan.org](mailto:jonacontact@jona-japan.org)

までお問い合わせ下さい。